

令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【浦和大里小学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

① 目標・策			
	目標		策
知識・技能	R5年度さいたま市学習状況調査の各学年各教科「知識・技能」に関わる領域において、R4年度の自校の結果より2pt以上向上させる。	⇒	タブレット学習や漢字ドリル・計算ドリルを活用して基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。児童の学習状況を確認し、児童自身が主体的・計画的に学習できるように支援する。
思考・判断・表現	R5年度さいたま市学習状況調査の各学年各教科「思考・判断・表現」に関わる領域において、R4年度の自校の結果より2pt以上向上させる。	⇒	協働的な学びの時間を確実に確保し、児童の思考力・判断力・表現力の向上を図る。教員・児童ともにICT機器を効果的に活用し、相手に伝えることを意識したスキルを身に付けることができるように指導する。
主体的に学習に取り組む態度	R5年度さいたま市学習状況調査「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において、肯定的な回答の割合を90%以上にする。	⇒	児童にとって必要感のある課題を設定し、解決することが楽しいと思うことができる授業を行う。課題や学び方を自分で選択する機会を増やし、学びを調整する力を高める。

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握)	
思考・判断・表現	職員会議・校内研修等	
主体的に学習に取り組む態度		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	全国平均は共に上回っており、基本的な知識・技能については身に付いている児童が多い。国語では、日常によく使われる敬語についての理解に課題が見られた。算数では、正三角形の意味や性質についての理解に課題が見られた。
思考・判断・表現	全国平均は共に上回っており、思考力・判断力・表現力はおおむね身に付いている。国語では、図表やグラフなどを用いて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することについて課題が見られた。算数では、自分が判断した理由を言葉や数を用いて記述することに課題が見られた。
主体的に学習に取り組む態度	R5年度全国学力・学習状況調査の「課題解決に向けて自分で考え自分から取り組んでいましたか」において、全国平均を上回る90.6%であった。R4年度全国学力・学習状況調査の自校結果と比較し、肯定的評価が-3.7ptであったため、今後の授業改善が必要である。

④ さいたま市学習状況調査結果・分析			
小3		小4	
小5		小6	

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)			
	目標		策
知識・技能	変更なし	⇒	変更なし
思考・判断・表現	変更なし	⇒	変更なし
主体的に学習に取り組む態度	変更なし	⇒	変更なし